

## 1 景観形成の理念と目標

### (1) 景観形成の理念

羽曳野市は、古市古墳群をはじめとする先人たちの残した歴史・文化を継承しつつ、美しい山並みや川の流れ、ブドウ畑が広がる丘陵などの豊かな自然環境を維持しながら、落ち着いた住環境をもつ住宅都市として発展してきました。それらが調和した景観は、市民が愛着と誇りをもち、人々を惹きつける魅力をもったものとなっています。

羽曳野らしい美しい景観は、私たち一人ひとりの知恵とたゆまない努力によって守られ、つくられていくことの大切さを認識し、まちづくりの主体である市民、事業者、行政、専門家等が協働で保全・活用しながら、新たな魅力を創造し、このかけがえのない財産を後世に伝えていきます。

### (2) 景観形成の目標

上位計画である「第5次羽曳野市総合基本計画」の将来像である

『人・時をつなぐ 安心・健康・躍動都市 はびきの』

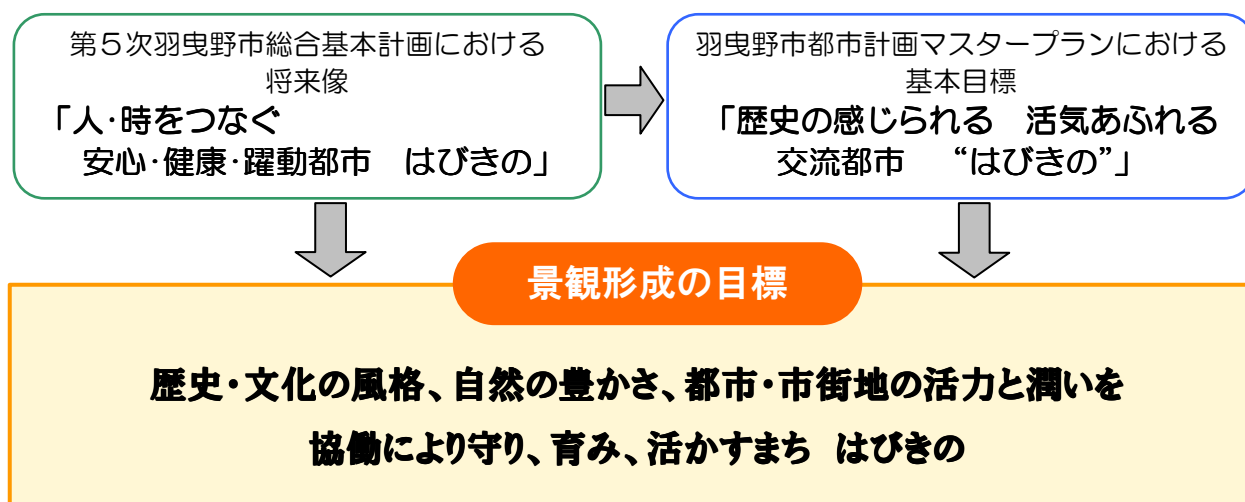
関連計画である「羽曳野市都市計画マスタープラン」の基本目標である

『歴史の感じられる 活気あふれる交流都市 “はびきの”』

にみられるように、羽曳野市のこれからのまちづくりは、羽曳野市がこれまで育んできた風格のある歴史や文化を守りながら、それらを支える「ひと」の安全・安心な暮らしやいきいきとした活動を協働により展開していくことがめざされています。

羽曳野市の美しい景観は、こうした取組や活動のひとつひとつの積み重ねによって、守り、育まれていくものであるといえます。

そこで、これらの上位・関連計画を踏まえた上で、羽曳野市の風格のある「歴史・文化」、豊かな「自然」、活力と潤いのある「都市・市街地」が創り出す「羽曳野らしい景観」(※)を守り、育み、活かすための取組や活動を、市民、事業者、行政、専門家等が協働により繰り広げていくため、景観形成の目標を次のように設定します。



※「羽曳野らしい景観」の解説は、第2部・第1章「3. 羽曳野市の景観特性」を参照ください。

## ■ 2 ■ 景観形成の方針

### (1) 景観形成の基本方針

「景観形成の目標」を実現するため、次の3つの基本方針（羽曳野市全域を対象とした景観形成野方針）を設定します。

### 景観形成の基本方針

#### 1. 古市古墳群や歴史街道などがつくりだす

##### 歴史・文化の風格を感じられる景観の形成

本市が誇る歴史資源の数々は、羽曳野市の歴史を知るだけではなく、日本の歴史を考える上でも大変重要なものです。

私たちの祖先がその時々々に創造し、守ってきたこれらの歴史資源を将来世代に引き継ぎ、羽曳野らしい歴史を感じられる景観を形成します。



#### 2. 山や川、農地などがつくりだす

##### 自然の豊かさを感じられる景観の形成

金剛山系の山地や石川、飛鳥川等の河川、丘陵のブドウ畑や田園等の農地などの豊かな自然資源は、私たちの生活にゆとりと潤いを与えてくれます。

これらの自然資源を守り、育み、活かすことにより、羽曳野らしい緑豊かな景観を形成します。



#### 3. 住宅市街地や都市施設などがつくりだす

##### 活力と潤いを感じられる景観の形成

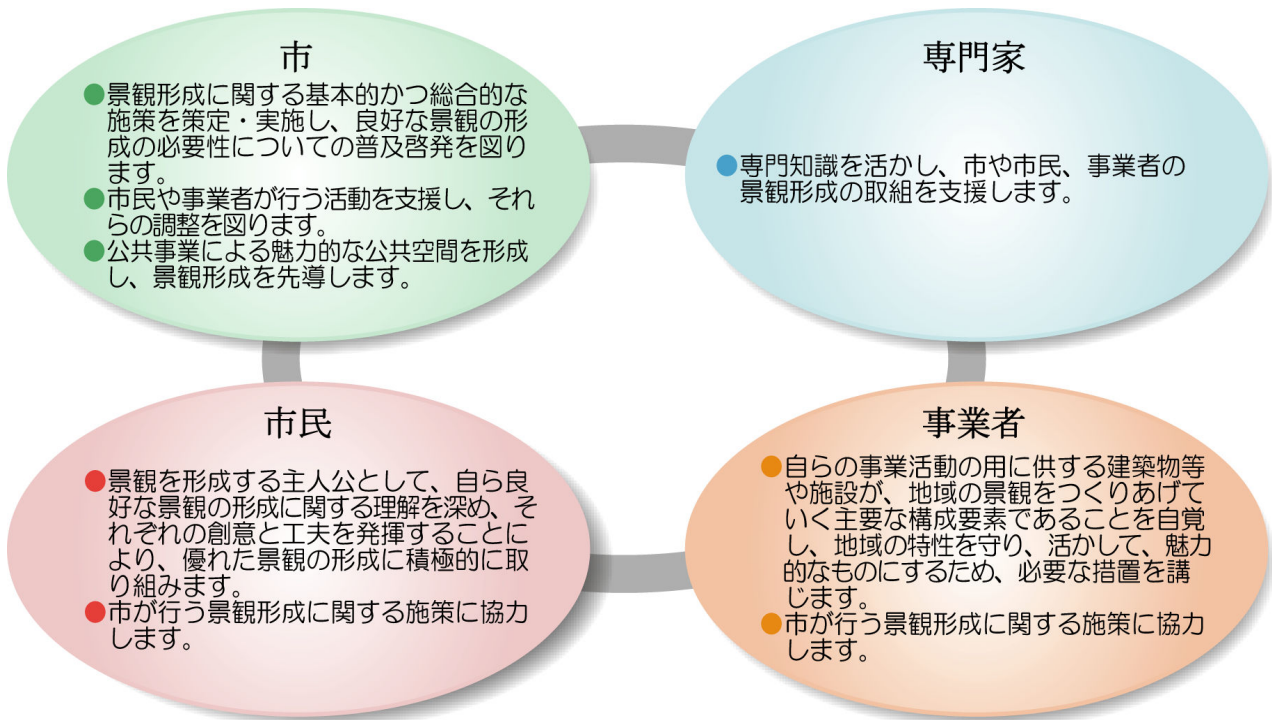
新たな住宅市街地や商業施設、工場、大学、公共公益施設などは、人々の生活を豊かにし、都市の活力をつくりだします。

歴史や自然との調和を図るとともに、地区ごとのイメージを活かすことにより、人の営みや活力を感じられる景観を形成します。



## (2) 主体ごとの景観形成の方針

市、市民、事業者、専門家は、次に示す方針に基づき、それぞれの立場で、その責務を認識し、創意工夫を生かしつつ連携し、協働することにより、羽曳野らしい良好な景観の形成に努めていくものとします。



市民緑化活動



市民参加の会議風景



### (3) 景観ゾーン・景観軸ごとの景観形成の方針

現在の羽曳野市の景観構造・景観の特徴並びに羽曳野市における今後の各種施策の展開を見据え、各景観ゾーンならびに景観軸の景観形成の方針を次のように設定します。

各景観ゾーンの特徴に応じた景観形成を進めるとともに、景観ゾーン相互の際（きわ）の景観形成に留意し、羽曳野市全体としての調和のとれた景観形成を進めます。

景観構造の区域区分		景観形成の方針	
景観ゾーン	歴史的景観ゾーン	古市古墳群景観ゾーン	古市古墳群については、羽曳野市の歴史を象徴する景観資源として、また、市街地における豊かな自然資源として適切に保全します。
		集落景観ゾーン	各地域の成り立ちや発展の経過等の地域の特色や歴史を読み取り、伝統的な様式を継承するとともに、地域の伝統的な活動と調和した歴史的風致を感じられる景観を形成します。
	自然的景観ゾーン	田園景観ゾーン	農業施策と連携して農空間の保全を図るとともに、それらと調和した土地利用や建築物等を誘導することにより、広がりのある緑豊かな田園景観を保全・形成します。
		丘陵ブドウ畑景観ゾーン	農業施策と連携してブドウ畑等の保全を図るとともに、それらと調和した土地利用や建築物等を誘導することにより、羽曳野市特有のブドウ畑の広がる丘陵景観及び眺望景観を保全・形成します。
		山並み景観ゾーン	金剛・和泉葛城山系は、市街地景観の背景となる山並みとして、また、羽曳野丘陵は、市街地縁辺部に残された貴重な自然資源として、緑豊かな景観を保全します。
	市街地景観ゾーン	一般住宅地景観ゾーン	区域内に残る旧集落や歴史文化資源等との調和を図りながら、民有地の緑化を推進し、良好な住宅地景観を形成します。
		丘陵住宅地景観ゾーン	生垣や庭木、街路樹などによる緑化を図るとともに、現存する緑の適切な管理と育成により、緑豊かな住宅地景観を形成します。
		近代住宅地景観ゾーン	羽曳野市の市街地形成の歴史を象徴する住宅市街地として、歴史と風格を感じられる緑豊かな住宅地景観を保全・形成します。
		にぎわい景観ゾーン	本市の玄関口として、安全・安心、快適で、いきいきとした魅力あふれる都市景観の形成をめざすとともに、応神天皇陵古墳などの本市を代表する歴史的景観や風格のある歴史的なまちなみと調和した景観を形成します。
		学術・文化景観ゾーン	学園前周辺においては学園都市として風格のある都市景観形成をめざし、街路樹の植栽等による緑豊かで洗練された景観を形成します。
景観軸	歴史景観軸	竹内街道や東高野街道等の歴史街道と一体となる建築物等の歴史的景観を保全するとともに、街道としてのつながりを感じられる景観を形成します。	
	自然景観軸	水辺空間の持つ自然特性を活かした親しみのもてる景観を形成します。特に石川及び飛鳥川は、東部山間部の山並みや周辺の田園空間と一体となった景観を形成します。	
	道路景観軸	街路樹による整備や沿道敷地内の緑化の促進等によりうるおいのある景観の形成を図るとともに、屋外広告物や沿道建築物を適切に誘導することにより、良好な沿道景観を形成します。	